

- 本県が全国に先駆けて平成15年度に導入した森林環境税では、制度創設以来、約2万5千ヘクタールの間伐や森林被害対策、多様な植生の保全に取り組み、森林の公益的機能を維持・増進。また、森林環境学習や森林保全ボランティア活動などに、これまで延べ31万人が参加するなど、県民の森林への理解と関わりを深化。
- 地球温暖化の防止に向けて、森林の役割が一層重要となる中、引き続き、森林環境保全の取組を先導的に進めていくため、森林環境税の延長が必要。

1 第四期(H30~R4)の実績見込み

(1) 森林環境の保全を進める事業

- ・人工林の間伐等 約5,700ha
- ・シカの捕獲 1万頭超
- ・希少野生植物の食害防止のための防鹿柵の設置 53か所 など



(2) 県民のみなさんの森林への理解と関わりを深め、

広げる事業

- ・小中学校等の森林環境学習 約5万人
- ・県民の主体的な森林保全活動等 約3万人
- ・公共的施設等での木材利用 300件超 など

課税期間の税収と事業支出 (見込み)

1. 税 収 約8.7億円
 2. 事業支出 約9.3億円
 - (1) 森林環境の保全を進める事業 約4.7億円
 - (2) 県民のみなさんの森林への理解と関わりを深め、広げる事業 約4.6億円
- ※支出の超過額は、基金を取り崩して対応

2 環境の変化

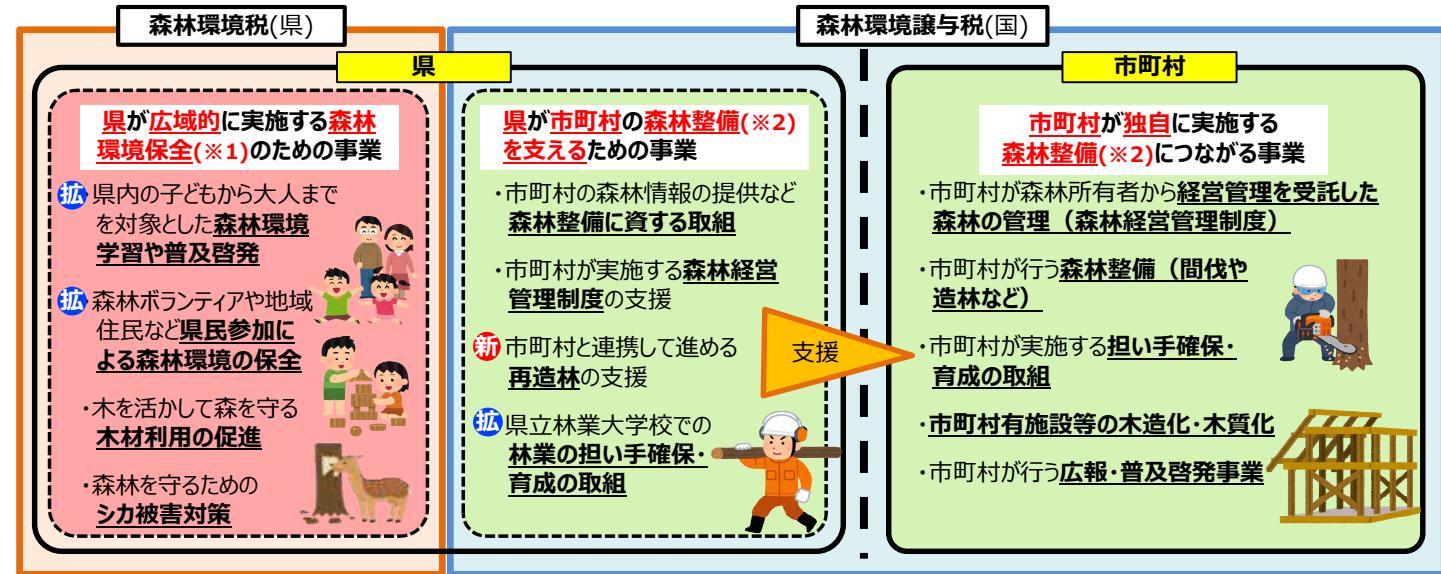
- ・国の制度による森林環境譲与税が、令和元年度から県と市町村に譲与され、その財源により県の森林環境税では実施できなかった「経営管理が行われていない森林」の整備を開始
- ・2030年のSDGsの達成や2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、森林の公益的機能への関心が高揚

3 国税と県税のすみ分け

令和5年度からは、右図の区分により、森林環境税(県)と森林環境譲与税(国)をすみ分け、それぞれの財源をフル活用して、森林保全・整備の取組を推進

【参考】

- ・高知県が全国に先駆けて創設した森林環境税(県)は、他の自治体でも導入が進み、現在は、37府県1市で同様の独自課税を継続
- ・これまで森林環境税で実施してきた事業が滞ることがないように、また、森林環境保全の取組が一層進むよう、他府県と同様に、森林環境税を継続



4 第五期(R5~9)森林環境税の取組と目標

森林率が84%と日本一の高知県の森は、CO₂を大量に吸収し続けて、地球温暖化防止に大きく貢献。また、その比率の高さゆえに、人は森と深く関わってきた。次期の森林環境税では、こうした事実を積極的に捉えて、「こうちの森」に触れ、学び、誇りをもって森を守り育み、使う、次の活動を推進する。

■ 森と触れあい、学ぶ「こうちの森でづくり」

(1) こうちの森でづくり事業

- ① 将来を担う子どもたちなどへの森林環境学習
 - 学校現場等での森林環境学習、幅広い世代への木育 など
- ② 県民の森や山に対する主体的な活動
 - 森林保全ボランティア、県民参加による「こうち山の日」活動 など
- ③ 森林環境に対する意識向上のための普及啓発・広報
 - 情報誌の発行、イベント開催、生活の場の緑化、意見交換会 など

【事業目標(KPI)の設定】

- A 森林環境税活用事業により目指す目標
 - ・森林環境学習の参加者数、森林保全ボランティアの参加者数
- I 産業振興計画の施策とあわせて目指す目標
 - ・林業就業者数

■ 森を守り育み、使う「豊かな森づくり」

(2) 豊かな森づくり事業

- ① 森林の保全につながる木材利用の促進
 - 建築物の木質化など、街に森をつくる「木の香るまちづくり」、カーボンニュートラル(脱炭素)につながる木材利用 など
- ② 野生動植物との共存への支援
 - 森林環境を守るための害獣防除、希少野生植物の保護 など

【事業目標(KPI)の設定】

- A 森林環境税活用事業により目指す目標
 - ・県産木材利用促進に係る事業の実施箇所数、木材使用量
 - ・森林や自然植生被害を抑制するためのシカの捕獲頭数
- I 産業振興計画の施策とあわせて目指す目標
 - ・森林環境保全に資する木材利用の実績

課税期間(R5~9)の中で、その時々ニーズに合わせ、県民の意見を取り入れて、常に事業を改善!

5 森林環境税に係るご意見

① 森林環境税の継続に関して

賛成意見が、**県民世論調査89.6%、企業アンケート 88.8%**

『賛成意見』 = 「賛成」 + 「どちらかと言えば賛成」

② 森林環境税について(県の森林環境税と国の森林環境譲与税の認知に係る設問)

知らなかったが、**県民世論調査72.6%、イベントアンケート 55.6%**

『知らなかった』 = 「国の森林環境譲与税のみ知っていた」 + 「どちらも知らなかった」

◆ 森林環境税について、調査審議する「**森林環境保全基金運営委員会**」では令和4年度第3回委員会(R4.11.8)において、**全会一致で税の継続提言**

◆ (高知県議会12月定例会でのご意見)

- ・多数の方が**(税の継続に)賛成してくれるのは心強い**。さらなる効果を上げるように頑張りたい。
- ・一方、**税自体の存在を知らない方が多いのは**、県民が森林環境税の効果を実感されていないことにあると思う。
- ・森林環境税をもっと啓発して欲しい。



→ご意見を踏まえ、第五期の認知度向上のための取組を強化

(新規) (仮称)こうち森からはじまる県民トーク開催事業(対話の機会を創出)

(拡充) ①新聞、情報誌、SNSなど、多様な媒体による**広報の強化**

②事業を通じて高知県森林環境税の文字及びロゴマークを積極的に活用